

研究所アドバンスドセミナー

院内職員のごなたでも来聴歓迎です

講師:

伊藤 淳平 先生

国立循環器病研究センター 研究所
心不全病態制御部 室長

講演タイトル:

「オートファジーを介して放出された鉄イオンはマウスにおいて心筋細胞死と心不全を引き起こす」

概要:

心不全は先進国において主要な死因の一つであり、心不全患者では鉄代謝異常や鉄欠乏が度々認められる。鉄は代謝恒常性に必要不可欠である一方、ネクローシス様細胞死を引き起こす。細胞内フェリチン複合体に貯蔵されている鉄イオンの放出はフェリチノファジーと呼ばれる選択的オートファジーによって行われ、鉄代謝恒常性を維持している。しかしながら、心臓におけるフェリチノファジーの役割については不明であった。今回我々は心臓に圧負荷が加わるとフェリチノファジーが亢進し心不全を悪化させ、一方でこの過程を抑制することで圧負荷誘導性の心不全から心臓を保護していることを明らかにした。

日時:

令和5年11月16日(木) 16:00 から

場所:

研究所6階 会議室

問い合わせ: 研究所 藤木 内線5402